

# 大洗研究所(南地区) 核燃料物質使用変更許可申請における 公開版のマスキング不備について

令和5年2月14日  
日本原子力研究開発機構  
大洗研究所

## 1. 概要

令和4年11月18日に申請した「大洗研究所(南地区)に係る核燃料物質使用変更許可申請書」(以下「申請書」という。)について、規制庁ホームページに掲載するため申請書中の非公開情報(管理情報)にマスキングを施した資料(以下「申請書公開版」という。)を作成したが、公開版の2箇所にマスキングの漏れがあることが確認された。

## 2. 今回の事象における問題点

原因分析の根拠となる本事象の時系列を整理したうえで、今回の事象における問題点を抽出し、原因を整理した結果を以下に示す。

### 2.1 マスキング処置漏れ

- (1) 許認可担当者(集合体試験課/燃料試験課各1名)は、11月18日に申請を予定していたため、マスキング処置作業を11月18日午前中に完了させるよう可能な限り急いで実施した。
- (2) 確認者(集合体試験課/燃料試験課各2名)は、MMF-2の図のタイトル及びAGFの図面にマスキング処置が漏れていることに気が付かなかった。
- (3) 保安管理部長(核物質防護管理者)は、申請書公開版に不備があることに気が付かず承認を行った。
- (4) 許認可担当者(集合体試験課/燃料試験課各1名)は、12月16日の面談資料を作成したにも関わらず規制庁から指摘されるまで申請書公開版に不備があることに気が付かなかった。

### 2.2 核物質防護管理者への連絡遅れ

- (1) 各担当課長(情報管理責任者)は申請書公開版についてマスキング不備があったことを確認したが、「管理情報の漏えい」であるという認識が希薄だった。

### 2.3 承認プロセス不備

- (1) 各担当課長(情報管理責任者)は、修正版を規制庁に直ちに提出することに傾注し、申請書公開版の承認プロセスを失念した。

## 3. 再発防止対策

上記第2項で抽出した原因に対して、詳細な原因分析を実施し、要因を特定した。その結果、以下の再発防止対策を行うことにより、同様な事象発生防止を図る。

### 3.1 燃料材料開発部における対策

#### 3.1.1 マネジメンツの強化 [2.1項(1)、(2)の対策]

許認可業務に係るマネジメンツの強化を図るため以下の対策を実施する。

- (1) 課長が品質マネジメンツに基づく業務の計画の中でマスキング処置を含めた許認可対応に係る計画の立案、進捗の管理を確実にする。

- (2) 第3者の視点で確認できるよう燃料材料開発部に各課の許認可資料を横断的に確認するチームを設置し、マスキングを含む資料の不備に対して相互に確認する体制の強化を図る。

### 3.1.2 マスキング処置の作成・審査方法の改善 [2.1項(1)、(2) 2.2項(1)の対策]

許認可対応に係るマニュアルを以下のとおり改訂し、申請書類の不備を防止する仕組みを強化する。

- (1) 許認可対応に係るマスキング資料の作成、確認において、公開資料の作成の際に、公開版を基に具体的な作成・確認手順を定める。
- (2) 申請書作成の際にマスキング処置を行う具体的な項目を明確にしたチェックシートを定める。
- (3) 確認者がマスキングの確認結果をエビデンスに残すことを定める。
- (4) 課長（情報管理責任者）が確認者の作成したエビデンスを確認することを定める。

### 3.1.3 面談資料作成手順の明確化 [2.1項(4)の対策]

許認可対応に係るマニュアルを以下のとおり改訂し、面談資料作成手順を明確化する。

- (1) 面談資料（公開版、非公開版）の作成の際には、申請書（公開版、非公開版）を基に作成することを定める。
- (2) 面談資料作成後に申請書と比較する等の確認項目をチェックシートに定める。

## 3.2 大洗研究所における対策

### 3.2.1 マネジメントの強化及び公開資料の不備の防止 [2.1項(1)、(2)、(3)の対策]

大洗研究所のマスキング要領を以下のとおり改訂し、公開資料の不備を防止する仕組みを強化する。

- (1) 承認プロセスの中に核物質管理課が関与する仕組みに改善する。
- (2) マスキング実施手順を明確化する。
- (3) マスキング処置対象の判断基準を明確化する。

### 3.2.2 課長（情報管理責任者）の再教育 [2.2項(1)、2.3項(1)の対策]

課長（情報管理責任者）を対象に以下の教育等を実施する。

- (1) 核物質防護情報管理要領の再教育を行う。
- (2) 管理情報の漏えいが発生すると業務にどのような影響があるか核物質防護秘密取扱者と議論し、初動対応訓練を行う。

以上